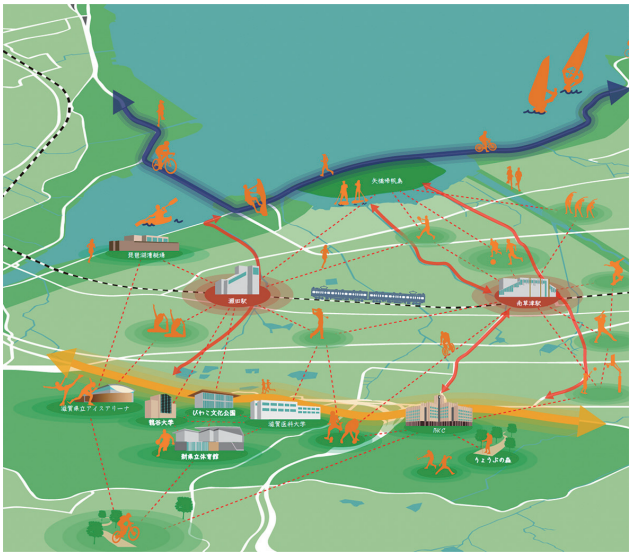
阿　部　俊　彦

（理工学部）

都市デザイン×スポーツ健康



南草津のスポーツネットワークによる
キャンパスシティのイメージ
（作図：阿部俊彦研究室）

スポーツによって、まちづくり・地域振興・コミュニティ・ツーリズムなど、都市空間を取り巻く社会環境は、これまでとは全く異なる様相を呈することが想起される。

コロナ禍以降、欧米の道路空間は、自動車のための高速移動から、人間のための中低速移動（ウォーキング、ランニング、サイクリングなどのスローモビリティ）のための空間へと転換されつつある。我が国でも、同様の施策が推進されており、道路に限らず、公共空間の利活用が社会実験を通じて推進されている。

まちじゅうの公共空間がスポーツのためのシェア空間として整備され、市民や学生によるスポーツサークルの活動の場となる。さらに、それらのサークル活動が新しいコミュニティ形成に寄与し、高齢化によって担い手不足の問題が深刻化していた自治会などのコミュニティ活動の再生につながる。また、ワーケーションの普及により、都市の利便性と豊かな自然環境を同時に享受できるエリアが第二の居住地として選択され、みじかな場所で本格的なスポーツが楽しめるライフスタイルが普及する。

以上のように、スポーツは、未来の人々のライフスタイルと都市空間を変える力を持っている。

所 属

理工学部　建築都市デザイン学科

研究テーマ

- 公共空間の利活用促進ためのワークショップ手法
- 地方都市におけるリノベーションまちづくり
- 巨大地震の備える事前復興まちづくり

キーワード

参加のデザイン、アクションリサーチ、
コミュニティデザイン、まちなみ景観、
復興まちづくり

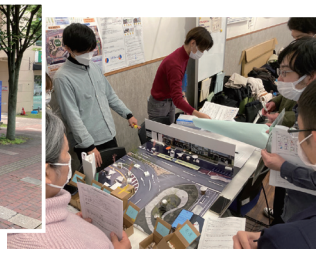
デザインワークショップと社会実験

1）南草津駅前のウォーカブルシティ

阿部が副センター長をつとめているアーバンデザインセンターびわこ・くさつ（以下、UDCBK）では、模型を使ったワークショップ、駅前広場で試しにスポーツをしてみる実験を実施し、駅前広場のリニューアルを検討中。

2）滋賀県立びわこ文化公園の学生フレンドリー事業

学生によるアイデアワークショップを契機に、公園内のランニングコース、マウンテンバイクコース、ネイチャートレイル、キャンプ場など、様々なアウトドアのアクティビティを可能とするなどのイメージを検討中。

3）矢橋帰帆島公園のリニューアルに向けた検討

公園内のスポーツ施設や船着場を活用した水辺のアクティビティなどの整備の可能性を社会実験を通じて検討中。